

保険証廃止撤回を否定

首相 マイナトラブル巡り

首相官邸は十九日、岸田文雄首相の十三日の記者会見で指名されなかつた報道機関の文書による質問に書面で回答した。健康保険証

を来年秋に廃止しマイナンバーカードに一本化する方針を撤回する考えがないか尋ねた本紙の質問に対し、

首相は「患者、医療機関、保険者にとってさまざまなメリットがある」と答え、撤回を否定した。

マイナンバーカードと健康保険証を一体化する「マイナ保険証」を巡つては、窓口で医療費の全額を請求されるなどのトラブルが起つてゐる。本紙は「国民の不信感がさらに高まつてゐる」と指摘。過去に「グリーンカード」と呼ばれる納税者番号制度が導入決定後に廃止された経緯に触れ、健康保険証の廃止方針撤回について聞いた。

首相は「マイナ保険証の利用でより良い医療を受けることが可能となり、医療制度の効率化につながる」と主張。健康保険証は来年秋の廃止後も最長一年間は有効とみなす経過措置を設け、二〇一五年秋まで使用

可能とする」とを国民に寧に説明していくとした。

(山口哲人)